

エビスグループはリサイクルに貢献する企業です。

「限りある地球資源の再活用」という基本理念のもと、廃棄物を再生・再資源化する活動を通じて、循環型社会の構築に貢献しています。

再生可能なプラスチックや古紙はマテリアルリサイクルを行い、再生困難な廃棄物は固形燃料「RPF」に加工して石炭等の代替燃料とすることで、二酸化炭素の排出を削減し地球温暖化の抑制に役立っています。

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



13

気候変動に
具体的な対策を



14

海の豊かさ
を守ろう



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



廃棄物の有効利用

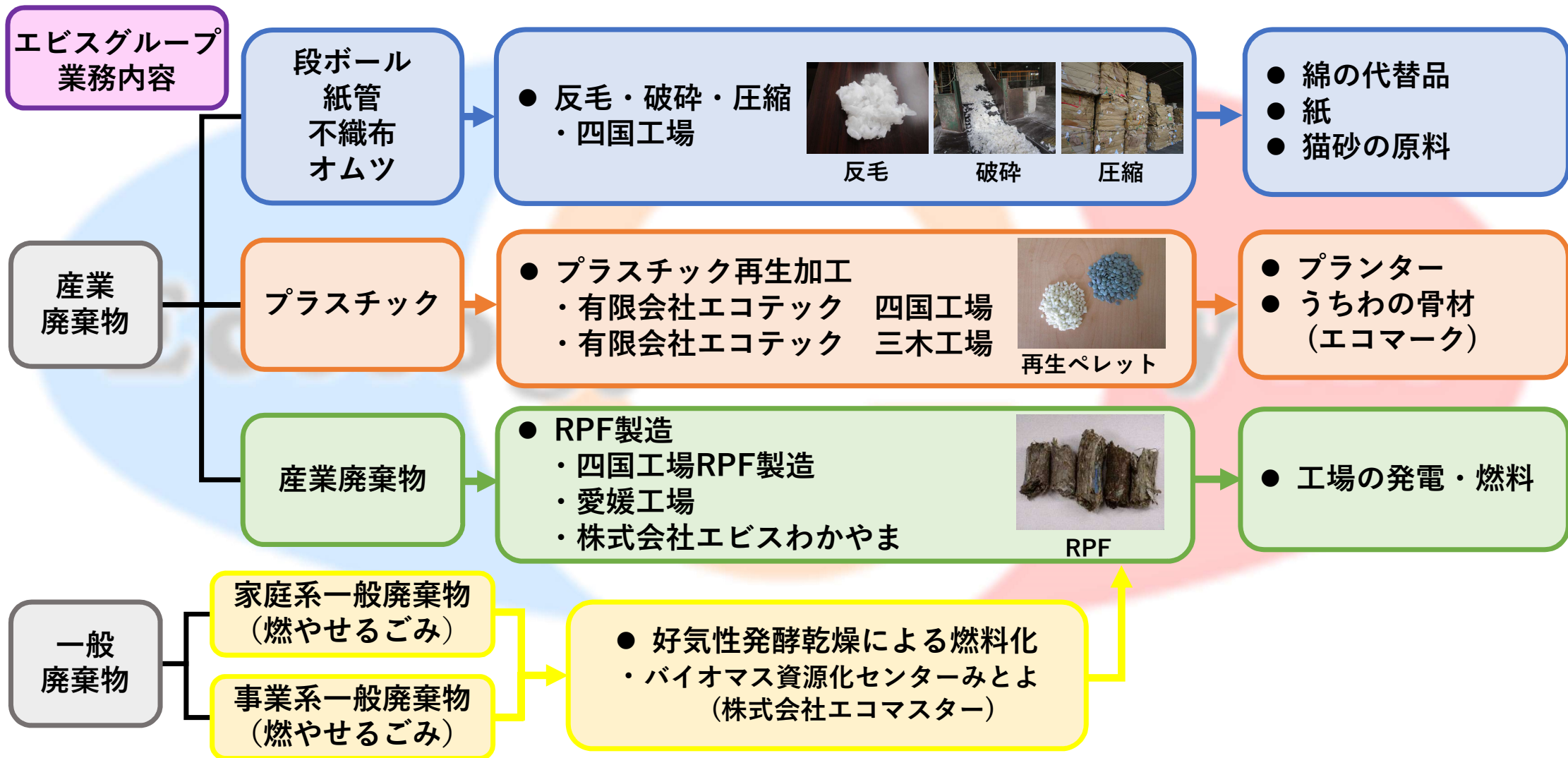
「ゴミを資源に変える」これが当社の基本姿勢です。紙・廃プラスチック等の廃棄物を99%以上の割合でリサイクルしています。

固形燃料RPFとは

マテリアルリサイクルが困難な古紙及びプラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料です。化石燃料(特に石炭)の代替として使用されます。

環境負担の軽減

RPFの発生熱量は石炭と同等ですが、CO2の排出が削減され、酸性雨の原因となるSOx、NOxの発生も抑制されるため環境への負担が軽減されます。



バイオマス資源化センターみとよ

平成29年4月1日より、三豊市の家庭や事業所から出る燃やせるごみを発酵・乾燥させて「固形燃料」の原料としてリサイクルする日本初の工場「バイオマス資源化センターみとよ」の稼働が始まりました。

これまで焼却処分してきた燃やせるごみがエネルギーとして生まれ変わります。

同施設は日経BP総合研究所調べ全国自治体・視察件数2020の総合ランキングにて4位を獲得するなど、非常に注目度の高い施設で、多くの自治体等に見学いただいております。

トンネルコンポスト方式の概要（リサイクルの流れ）

